

令和6年度 事業報告

コロナ感染は未だに終息しておらず、入所者・職員への感染に対し感染対策の、手洗い、検温を継続しながらの施設運営であったが、各事業等スムーズに開催することが出来た。

特に運動不足の入所者に対し、地域交流室へ健康器具を設置し会場を開設したことで、運動や脳トレ、ゲーム等を自主的に利用する入所者が徐々に増えていることは評価に値する。

また、地域交流に関して「七城町・泗水町福祉施設連絡会」を開催し、5施設での意見交換を行い、分野の異なる施設の状況が確認出来た点が、今後のサービス向上への礎となった。

<法人の運営>

1. 理事会の開催（会場：菊池園）

第1回 理事会 期日：令和6年6月10日 出席：理事6名、監事2名

主な議題：令和5年度事業実施報告、収支計算書類並びに監事監査報告

資産総額の変更、定款一部改正、定款細則の一部改正

役員・評議員等の報酬並びに旅費・日当の定の一部改正

任期満了に伴う評議員候補の選出

定時評議員並びに評議員選任・解任委員会開催日の決定

報告事項：理事長の業務執行状況報告

第2回 理事会 期日：令和6年12月2日 出席：理事6名、監事2名

主な議題：給与規定一部改正、再任用職員規程の一部改正

菊池園サービス区分第1回補正予算等

報告事項：資産変更登記の完了

第3回 理事会 期日：令和7年3月21日 出席：理事6名、監事2名

主な議題：第1回紫翠会本部・第2回菊池園サービス区分補正予算

育児・介護休業等規則一部改正

インターネットバンキング利用規定策定

施設長退任及び新施設長就任

令和7年度運営方針並びに事業計画、収支予算等

報告事項：理事長の業務執行状況報告

2. 定時評議員会の開催（会場：菊池園）
期日：令和6年6月26日 出席：評議員6名、（欠席1名）
議題：法人紫翠会の計算書類、監事監査報告、定款一部改正
役員・評議員等の報酬並びに旅費・日当の定の一部改正
報告事項：令和6年度 菊池園職員体制
3. 評議員選任・解任委員会の開催（会場：菊池園）
期日：令和6年6月26日 出席：委員 3名
議題：法人紫翠会評議員の選任
4. 監事監査の開催（会場：菊池園）
期日：令和6年5月28日 出席：監事2名
内容：① 令和5年度事業報告
② 令和5年度計算書類及び財産目録の監査
5. その他
熊本県社会福祉施設経営者協会の関係会議、セミナーへ施設役員が出席。
 - ① 6月17日 県経営協第1回各種別協議会総務担当者連絡会
 - ② 8月 6日 県経営協 県議・市議との意見交換会
 - ③ 9月 2日 県経営協 前期セミナー
 - ④ 11月18日 第2回各種別協議会総務担当者連絡会
 - ⑤ 1月15日 熊本県・市行政と経営協役員との意見交換会
 - ⑥ 1月29日 県経営協 後期セミナー※熊本県救護施設協議会長として、県社協主催の会議へ出席。

＜施設の運営＞

施設の基本方針の基、全職員が共通認識をもち入所者へのサービス向上のため、10月から義務化された、個別支援計画を充実させ支援に努めた。さらに、公益的な取り組みで、「緊急一時救護事業（無料・定額事業）」にて利用者を受け入れた。

総務（会計・経理・設備管理）の面では施設の安全整備をはじめ、適切な会計を運行し、物価高騰による経費削減対策に努めた。

1. 入所者の動向

令和6年度の月平均入所人員は53.7人となっており、退所者が18

名、入所者が18名であった。ここ数年平均人員が53名となっており、入所依頼も徐々に減少している状況、施設運営に大きな影響はないが、少なからず経費面で影響が出ている。

法人運営の緊急一時救護事業は、7名の利用者を受け入れ、実績が出ている。

2. 環境整備

安全・安心に生活出来るように、安全管理自主点検にて危険個所のチェックを行い、事故防止に努めた。

また、園内外の整備では、機械等の点検は欠かさず実施し、不備のないよう確認した。

3. 防災管理・安全管理

火災を未然に防ぐため、防火管理責任者の計画にて避難訓練を3回実施。消火器による初期消火から、通報、避難の総合訓練を実施した。

3月には「安全な自転車の使用」として菊池交通安全協会から交通指導員等5名による交通安全講習会を開催した。

4. 会議関係

(1) 施設内会議

- ・運営会議：菊池園運営について毎月1回、施設長及び職種代表者が翌月の事業や行事について協議し、計画的な施設運営を図った。
- ・職員会議：毎月1回全職員を対象に会議を開催、事業や行事計画の周知を行い、連絡事項の確認の徹底を図った。
- ・個別支援計画検討会：個別支援計画書を作成し、個人のニーズにあった支援内容について検討会を実施。
- ・業務連絡会議：直接処遇職員が当日の連絡事項や反省等を報告し対応を検討した。翌日の業務の確認を実施。
- ・給食会議：年2回開催。全職員を対象として、入所者の嗜好調査結果報告、食事摂取量、間食等の見直しについての協議を実施。
- ・献立検討会議：毎月1回開催。栄養士及び介護支援員、看護師、調理員で給食の献立や行事食等について協議を実施。

(2) 施設外会議

- ・全国救護施設協議会関係

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 第1回常任協議員会 | 東京 全社協灘尾ホール |
| ② 総会及び経営者・施設長会議 | 東京 全社協灘尾ホール |
| ③ 第2回常任協議員会 | 北海道 札幌パークホテル |
| ④ 第46回全国救護施設研究大会 | 北海道 札幌パークホテル |

・九州地区救護施設協議会関係

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 第1回理事会、総会 | 鹿児島県 ホテルマイステイズ |
| ② 職員研究大会 | 鹿児島県 ホテルマイステイズ |
| ③ 第2回総会 | 長崎県 社会福祉法人みのり会 |
| ④ 施設長等管理監督者研修会 | 長崎県 社会福祉法人みのり会 |
| ⑤ 職員研修会 | 大分県 労働福祉会館ソレイユ |
| ⑥ 正副会長各専門委員長会議 | 福岡県 八仙閣本店 |
| ⑦ 第2回理事会、第3回総会 | 熊本県 医師会館 |

・熊本県救護施設協議会関係

① 施設長会議

- 第1回（パークドーム熊本） R5年度事業報告並びに決算報告等
 第2回（菊池グランドホテル） 各委員会の事業報告等
 第3回（友愛会銀杏寮） 令和7年度事業計画並びに予算（案）

② 各種委員会

調査・研究委員会、研修員会、事業検討委員会を各員会年3回実施。ホームページの管理、広報誌の発刊、職員研修会の開催、救護施設交流会を開催した。

③ 職員健康管理

全職員の健康診断、宿直業務職の腰痛検査（年2回）、インフルエンザ予防接種を実施。コロナ感染対策のワクチン接種は自己判断とし、施設での接種は行なわなかった。

<各部署の動向>

○ 生活支援・指導

入所者の日常生活を有意義なものにするため、個々が意思をもって活動が出来るように、福祉事務所と連携し、個別支援に努めた。

- ・総会、奉仕活動、下校見守りを実施し、自治活動を行った。
- ・七城町・泗水町の福祉施設との連絡会議を開催し、今後の地域交

流に対し検討を行った。

- ・いきいきクラブでは様々な装飾品等で作成後展示し、釣りクラブでは海や川へ魚釣りに出かけ、ストレスをため込まないよう活動した。
- ・日帰り旅行、外食、ふるさと訪問を計画し、年間を通して数か所に少数の入所者にわかれて外出した。
- ・居宅訓練事業は2か所で、年間5名の訓練を実施した。
- ・各機関との連携では、福祉事務所や医療機関の他に社会福祉協議会や菊池郡市社会福祉連絡協議会等との連携を保ち、情報連携にも留意したことで、個別支援計画書の課題に役立てることが出来た。
- ・広報誌「つばさ」を年2回発刊。

○ 介護・介助支援

- ・高齢化が進む中で機能低下が見られる入所者へ食事、排泄、入浴、静養等の介護を計画的に実施した。
- ・通院やショッピングの付き添いを実施し、入所者へ寄り添った支援を行った。
- ・金銭管理を個人で管理出来るように、金庫を購入し、通帳、現金の管理を実施。使いすぎには、生活支援員と協力し、指導した。

○ 健康管理（看護支援）

- ・感染対策：毎日2回の検温と食事前や帰園後の手指の消毒、インフルエンザ予防接種を実施。検温は体調不良者の早期発見にも繋がっている。
- ・通院計画、入退院計画：スムーズに対応出来るよう各病院と連携し調整した。
- ・健康座談会：健康に対する意識を高めるため、毎月実施した。
- ・健康サロンの開設：地域交流室の半面を利用して、ゲームや健康器具の導入、頭の体操として、ぬり絵やパズル等を設置し入所者の体力作りや老化防止の運動等を実施した。

○ 給食・調理

- ・衛生管理：安全で美味しい食生活を提供するため、調理職員の検便を実施し、手洗いや服装管理を徹底した。
- ・嗜好への取り組み：嗜好調査を年2回実施し、週3回の選択メニューの献立へ取り入れた。
- ・行事食の提供：四季の行事等に対し、様々な料理を提供した。

- 特別食への対応：糖尿病等をもつ入所者のため、減塩食やカロリー調整で対応した。また、機能低下による誤嚥がないようにキザミ食や流動食を提供した。
- 炊き出し訓練：年1回実施。災害時での食事提供を想定し、屋外で非常食を試食した。

※各部署の活動に関する実施状況の詳細は別添資料を参照。

令和 6 年度 事業報告書

苦情解決実績集計表

分類	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
食事について	0 件	0 件	0 件
入浴介助について	0 件	0 件	0 件
金銭管理について	0 件	0 件	0 件
利用者間の関係について	1 件	0 件	0 件
職員の言動・対応について	2 件	1 件	3 件
施設備品の不具合について	0 件	0 件	0 件
建物の不具合について	0 件	0 件	0 件
その他	0 件	0 件	0 件
合計	3 件	1 件	3 件

※苦情受付件数は 3 件。

(利用者間の関係について…1 件)

- ・深夜にテレビ（録画番組）を見ている者がいるので眩しくて眠れない。

(職員の言動・対応について…2 件)

- ・担当職員を替えて欲しい。
- ・職員の中にマスクを付けずに仕事をしている方がいるので注意して下さい。

この他に意見箱、相談受付日に出された意見は以下のとおり。

- ・自転車に乗って菊池園から出て行く際に一旦停止をしない入所者がいる。
- ・年 1 回のカラオケ大会を 2 回以上に増やして欲しい。
- ・トイレの使い方が悪いのでどうにかして欲しい。

最近の傾向

- ・菊池園の規則が守れない（社会通念に反する）新規入所者が増えている。

令和6年度 事業報告書

生活支援員

① 相談並びにケースワーク

年金相談・申請(5回)、入所者の相談やケースワークを実施した。
その他、他施設移行のため施設見学、申請や調査対応をした。

② リハビリテーション

【菊池有働病院デイケア】

対象者：4名 毎週水・金曜日 年間90回参加。

③ 学習

【基礎学習】

年間17回、地域交流室にて実施。 宮本講師来園あり。

対象者：5名

④ 令和6年度に実施した行事内容

月 日	行事内容	参加者
7月23日	カラオケ大会 (菊池園地域交流室にて)	48名 (うち出場者 18名)
10月11日	菊池園開園記念祭 (菊池園地域交流室にてパン食い競争)	50名 (職員 15名)
11月 5日	ボランティア慰問(コスモスボランティアグループ) ギター演奏、フラダンス、踊り 等	46名 7名来園あり
12月25日	忘年会(菊池園地域交流室) 入所者ファッションショー、借物競争 等。 午後から食堂にて、「施設長と語ろう会」	47名 語ろう会 6名
1月16日 17日 20日 21日	神社参拝 (菊池市：菊池神社、北宮神社)	菊池神社 18名(職員 5名) 北宮神社 8名(職員 4名)

【外食】

月 日	食事内容	参加者
4月22日	リンガーハット	1名(職員1名)
//	ヒライ	1名(職員1名)
5月22日	辛麺	3名(職員3名)
6月24日	回転寿司(はま寿司)	4名(職員2名)
8月21日	回転寿司(じじや)	3名(職員2名)
//	回転寿司(はま寿司)	3名(職員2名)
9月25日	回転寿司(はま寿司)	5名(職員2名)
10月23日	ファミリーレストラン(サイゼリヤ)	4名(職員3名)
11月20日	ケンタッキーフライドチキン	2名(職員1名)
12月23日	マクドナルド	4名(職員2名)
1月22日	ラーメン(田所商店)	5名(職員2名)
2月26日	コメダ珈琲	2名(職員2名)

【日帰り旅行】

月 日	行先	参加者
5月 2日	菊池つつじ見物	3名(職員2名)
7日	//	3名(職員2名)
9日	//	2名(職員2名)
7月 4日	阿蘇山火口	5名(職員2名)
8月22日	御船町恐竜博物館	4名(職員2名)
10月31日	通潤橋	8名(職員4名)
2月18日	ゆめタウン光の森	4名(職員3名)

【ふるさと訪問】

月 日	行先	参加者
4月18日	熊本市寺 寺参り	1名(職員1名)
6月 3日	阿蘇市 母親面会、墓参	2名(職員2名)
11日	合志市 墓参	1名(職員1名)
25日	山鹿市 墓参	1名(職員1名)
9月12日	八代市 墓参	1名(職員1名)

⑤ 菊池園活動

【總會】 毎月 1 日、施設長から入所者全員へ話しがあり、その後当月の行事予定、意見聞き取りを行った。

【下校見守り】

5月から3月の間、合計39回実施。

実施日：月・金

対象者：5名

【クリーンデイ】

実施日	参加人数	内容
5月15日	26名	3班に分かれて実施。職員4名。
6月 7日	19名	3班に分かれて実施。職員4名
10月21日	29名	3班に分かれて実施。職員4名。
11月25日	29名	3班に分かれて実施。職員4名
12月 9日	26名	3班に分かれて実施。職員4名
3月17日	22名	3班に分かれて実施。職員5名

⑥ クラブ活動状況

【生花】

会 員：8名（このうち毎回3名参加）

実施日：毎月2回（第2・第4月曜日 13：00～13：30）

年間19回実施。

【いきいきクラブ】

会員：9名

実施日：月1回。（10：00～11：30）

年間12回実施。

⑦ 居宅生活訓練事業

施設入所中に、居宅訓練を通して基本的な生活習慣を身に付け、施設退所後は地域で生活を送れるよう近くのアパート等を借り上げ、生活訓練を行った。

＜事業内容・報告＞

対象人員：5名

実施内容：

〈宮崎ハイツ〉 男性 44 歳 令和 5 年 12 月から令和 6 年 8 月まで訓練実施。
アパート室内で喫煙していたため、訓練中止とした。

男性 61 歳

令和 6 年 9 月から現在訓練実施中。

2 回目の居宅訓練実施中。現在のところ、1 泊 2 日の訓練を問題なく実施できている。

〈一軒家〉 女性 65 歳

令和 5 年 10 月から令和 6 年 9 月まで訓練実施。

食事管理、金銭管理、整理整頓等について、職員が助言するが改善見られず、1 年を以って訓練中止となった。

男性 41 歳

令和 6 年 10 月から令和 7 年 2 月まで訓練実施。

希死念慮があり、精神科入院となったため訓練中止とした。

男性 62 歳

令和 7 年 3 月から現在も訓練実施中。

1 泊 2 日の訓練を問題なく実施できている。

⑧ 無料低額宿泊事業

受入れ者：7 名

- | | |
|-----------|------------|
| ① 男性(26歳) | 6月14日～16日 |
| ② 男性(60歳) | 8月29日～31日 |
| ③ 男性(22歳) | 9月13日～17日 |
| ④ 女性(45歳) | 9月20日～30日 |
| ⑤ 男性(72歳) | 12月 2日～20日 |
| ⑥ 女性(74歳) | 2月13日～18日 |
| ⑦ 男性(45歳) | 3月 4日～4月1日 |

⑨ 福祉避難所 今年度の受入れなし。

⑩ 地域交流室利用

利用：1 件

7月5日 9：00～13：00

学思塾 学習指導のため 26名

1. 個別支援計画書の作成

- ・入所者の状況を把握すること、状況に沿った支援を行うことを目的とした。計画書を新たに作成し、必要な支援、介護・介助に取り組んだ。
- ・ケース記録の記帳については、必要事項を記帳し、3ヶ月の間隔で確認し、支援計画の変更が必要な入所者に対しては、その都度見直した。

- ・(1) 居室(1・2人部屋)のトラブル・苦情・居室替えの希望・本人の病状などについて、複数職員と話し合い、対応が必要と認められた場合、居室替えを実施。その他トラブルなどについては職員を交えた話し合いを実施しその都度対応した。

※居室替え実施者 (39名)

(1) 社会生活自立支援

- ・就労活動支援、自立生活支援・住居の片付け
- ・負債処理手続き
- ・学童下校見守り (6名)
- ・金銭管理支援 (51名)
- ・服薬自己管理支援 (38名)
- ・個人通院支援 (19名)

(2) 日常生活自立支援

- ・毎週5回(月曜～金曜)午前・午後、機能維持・健康増進のため、園庭散歩を実施した …… 別添資料①
- ・残存機能の維持を目的としリハビリを兼ねてレクリエーション・機能訓練、利用者の趣味の助長として、スポーツ・カラオケ・健康王国を実施した。別添資料②

2. 介護・介助の充実

高齢化による機能低下・歩行不安定、身体に障害のある利用者の残存機能を生かすため、日常生活の中で本人の意思を尊重しながら、無理なく安心した生活が出来るように介護・

介助を行った。

【起床・就寝】 布団敷き・布団上げ・衣類の更衣・起床時の声掛け

対象者 (18名)

【洗面・整容】 歯磨き・洗顔・髭剃り・耳かき・爪切り・化粧・着衣を整えるなど身だしなみに配慮した。

爪切り：総会終了後爪のチェックを行った。

歯ブラシ：月に1度劣化のチェックを行い交換した。

対象者 (35名)

【食 事】 食事前の手洗い・消毒・食後の歯磨き介助により清潔を心掛け、食べこぼしがひどい利用者はエプロン使用にて対応した。また歩行状態が悪い利用者には下膳をおこなった。

嚥下力が弱い人や意思表示が困難な人に対しては食事中的の見守り、体調不良者やこだわりによる食事拒否者に対しては居室配膳を実施した。

対象者 (17名)

【排 泄】 2時間毎のトイレ誘導を行い、歩行不安定者には多目的トイレの使用を促し、体調不良者については静養室を使用した。

対象者：オムツ (3名)

紙パンツ (18名)

尿取りパット(8名)

トイレ誘導(11名)

【入 浴】 週3回、洗髪・洗体の介助、声掛け、見守りを行い、体調不良者に関しては清拭で対応することで清潔保持に留意した。

浴室では浴用椅子を使用し、安全確保に配慮した。

脱衣所においては、椅子を設置し、エアコンを使用して適温保持に努めた。

対象者：全介助 (0名)

一部介助 (15名)

見守り (29名)

)

【移 動】 歩行不安定者への移動介助をマンツーマンで行い、転倒防止に努めた。食堂・浴室・トイレ・地域交流室・診療所・園庭への移動。また、施設内外の行事参加やシャトルバス利用時の移動介助などを行った。

外の行事参加やシャトルバス利用時の移動介助などを行った。

対象者：車椅子 （２名）
歩行器 （２名）
歩行車 （１名）
杖使用 （１名）
ヘッドガード（３名）

【衛生管理】 ２週間に１回シーツ洗濯（居室ごとに洗濯・干しを利用者自身が行い自立
助長を図った）
週１回 居室清掃
失禁等で汚れた衣類・寝具の交換、洗濯、居室の清掃

対象者 （４１名）

【身辺処理】 押入れ・タンスの整理。季節ごとの衣替え、洗濯物の片付けを行った。

対象者 （３３名）

【洗 濯】 洗濯、干し、たたみを実施。

対象者 （２５名）

【掃 除】 居室、トイレ、洗面所、洗濯場、喫煙所、浴室などの掃除の支援を実施。

【外出付添】 気分転換、生きがい作りのため施設外での買い物、食事、理髪、外出、ま
た病院受診を付添いで行った。

対象者 （６６名）

3. 衣類及び日用品の支給

外出着及び下着等の衣類については、近隣の店舗にて入所者の好みに合ったものを支給
するように努めた。

また、日用品等は、物品庫管理にて必要に応じてその都度支給した。

4. 機能訓練・レクリエーション・・・別添資料①②

園庭散歩・地域交流室散歩（毎日）時に足や腕の曲げ伸ばしなど症状に応じたりハビリを
行った。

また、地域交流室で風船バレー・卓球・ペットボトルボウリング・健康王国（カラオケ等）

を使用しての体操などを行い、楽しみながら機能維持訓練を行うことができるように努めた。

5. 健康管理

水分補給 自分で水分を摂ることができない利用者への介助を行った。
お茶（10：00、15：00、20：00）、お菓子（10：00、15：00）を飲食してもらった。

対象者 （8名）

間食管理 お菓子、飲み物を介護支援員室にて預かり、体調に合わせて飲食してもらった。

対象者：（糖尿） （14名）

（その他） （29名）

煙草管理 医師から煙草は出来るだけ吸わないよう指導があっているが、本人の精神状態が悪くなるため、支援員室にて預かり時間ごと1本、また朝1日分・午前・午後に分けて煙草渡しを行い、本数を減らすように努めている。
火災の心配があるため、夜間帯等ライター預かりを行った。

対象者 （21名）

感染症対策 コロナの感染防止のため、食事前手洗い、消毒の励行。また、毎日の検温の支援を行い、体調の把握に努めた。

6. 金銭管理

利用者の預り金の入出金については本人の必要に応じてその都度行った。また、金銭を渡す際は必ず複数の職員で立ち合い、預り金の適正管理に努めた。

7. ふるさと訪問

日頃、家族との交流がない利用者を対象に家庭訪問や墓参を実施した。

対象者：4月18日（1名）、6月3日（2名）、6月11日（1名）、
6月25日（1名）、9月25日（1名） （計 6名）

8. 菊池園情報誌「つばさ」の発行

利用者の家族、関係福祉事務所、県社会福祉課等へ年2回発送した。

9. 宿直業務 ・ ・ ・ 別添資料③

令和6年度 散歩事業報告書

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	7	6	3	4	0	2	10	3	9	4	6	4	58
参加人数	207	176	64	94	0	39	256	80	251	129	158	103	1557

〈感想〉

月間を通し実施回数を増やし、気分転換、また、身体的症状の悪化を防ぎ、運動不足の解消を行う事により入所者の健康管理に努めた。夏期の実施については、猛暑時間を避け、午前の涼しい時間に短時間でいい、なるべく参加に繋げた。参加者については、消極的である入所者が固定されており、職員にて参加を促すも、拒否が見られた。しかし、普段その他のレクリエーション活動に参加しない入所者については、散歩には参加するといった動きは見られた。

園庭散歩の他、入所者個々のレベルに合わせ、各担当職員にて園外散歩を実施し、入所者の精神面の安定や気分転換を図った。付添受診や付添外出等ため、職員の人員確保が難しかった事もあり、前年度よりも実施回数が減少傾向にある。

令和6年度 釣りクラブ活動状況

【目 的】

野外での釣りを通して、心身の緩和と利用者間の協調性を高めることを目的として行う。

【参加利用者】 9名 八百田和親、手島昭二、春木修、今田有希子、佐藤和宏、若木恵、下田栄一郎、
築山勇二、家入雅文

新規参加者

・下田氏、若木氏…4月から参加。・築山氏…6月から参加。・家入氏…9月から参加。

中止者

・林田氏…4月入院のため中止。・田畑氏…5月より居宅訓練に集中してもらうため中止。・家入氏…失踪により中止。・築山氏、今田氏…失踪により中止。

月	場 所	人 数	内 容
4月	菊池園グラウンド 山鹿大橋	13名	グラウンドにて竿とリールの持ち方、投げ方、糸の種類の違いについての講習、投げ方の練習。菊池川にて釣り、食事を行った。
5月	弓ヶ浜	6名	弓ヶ浜にて釣り、食事を行った。釣りが出来る利用者が出来ない利用者のサポートを行っていた。数匹釣ることが出来た。
6月	合志川	6名	合志川にて釣りをを行った。釣りが出来る利用者が出来ない利用者のサポートを行っていた。数匹釣ることが出来た。
7月	弓ヶ浜	0名	弓ヶ浜で釣りをを行う予定であったがコロナウイルスのため中止。
8月	長洲漁港 菊池園グラウンド	6名	長洲漁港で釣り(夜間)、食事を行った。特に問題なかった。糸と糸の結び方、糸と金具の結び方の講習、練習を行った。
9月	弓ヶ浜	8名	弓ヶ浜で釣り、食事を行った。釣りが出来る利用者が出来ない利用者のサポートを行っていた。全員釣ることが出来た。
10月	緑川河口	8名	弓ヶ浜にて釣り、食事の予定であったが雨の影響で緑川河口で釣り、食事を行った。全員釣ることが出来た。
11月	緑川河口 ドライブ	7名	弓ヶ浜で実施予定であったが雨天のため緑川河口に変更し釣り、食事を行い、ドライブを行った。全員釣ることが出来た。
2月	浮島神社	5名	浮島神社にて釣り、食事を行った。全員で協力し仕掛けなどを作っていた。数匹釣ることが出来た。
3月	緑川河口	5名	弓ヶ浜で実施予定であったが風が強くうねりがあったため緑川河口に変更し釣り、食事を行った。全員ポイント等を話し合い、協力しながら釣りをを行う事が出来ていた。

令和6年度 事業報告書 医務・診療所関連

入所者の健康管理（今年度の振り返り）

今年度は心身の健康維持、身体・認知機能維持を目標に取り組んだ。以下、具体的内容をまとめたものである。

具体的内容と評価

	具体的内容	評価
施設内診療	(1) 嘱託医の指示のもと比較的軽微な疾病に対し与薬・点眼・湿布・消毒処置・軟膏類の塗布を実施 (2) 定時検温の実施 (3) 体調不良者に関する受診と、医師の診察指示による看護 (4) 看護師不在時にも同様の処置・ケアが出来るように支援室との情報共有 (5) 体調に関する相談と指導	処置、与薬ともにすくなくなつた。また、体調不良の訴えも減少した印象。次年度は数字で表記する。
施設外診療	(1) 定期受診や臨時受診の付添い（退所者も含む） ・精神科（41名）定期4週に1回、状態により8週に1回 ・内科（33名）定期30日に1回 ※次年度より2カ月1度受診 ・歯科（13名）週に1回程度 ・眼科（17名）定期2カ月に1回 ・耳鼻科（1名）随時 ・皮膚科（4名）随時 ・泌尿器科（1名）1～2カ月に1回 ・その他（4名）随時 (2) 入・退院時の移送や付添い（24件）、手続きなど (3) 定期検査の前処置や付添い (4) 医師へ状態報告し指示をうけ実施	入所者の入退所が多く変動あり。定期通院は前年度からの方法でスムーズに継続できた。今年度は転倒による骨折入院が多く、今後の課題となる。 （別紙①参照）安定した状態の入所者の定期通院は受診期間を2カ月とすることでスタッフの負担、医療費削減、利用者の自由時間確保につなげることができたように思う。

健康管理	(1) 血液検査（年２回） (2) 結核診断のための胸部レントゲン（年１回） (3) 大腸癌早期発見のための便潜血検査（年１回希望者のみ） (4) 医師指示のもと、定期検査の計画と実施（ＣＴ、エコー、胃カメラ、大腸カメラ） (5) 毎週水曜日：全員血圧測定 毎月初旬：全員体重測定	継続した事項。高齢とる入所者や理解力低下で検査自体の件数は減少。しかし体調不良の訴えはなし。
感染予防	(1) 全入所者、職員を対象としたインフルエンザ予防接種、新型コロナワクチン接種（但し、強制ではない） (2) 常時マスク着用・うがい・手洗い、居室や手すりなどのアルコール清掃、毎食前のアルコール・強酸性水での消毒、指導 (3) 感染症情報の発信と情報共有	感染性疾患施設内発生なし。現在の感染予防の継続。
健康座談会	(1) 季節に応じた内容で、入所者の健康に対する意識を高めるようつとめた (2) 日常生活でもできる簡単な運動を取り入れ、自主的に行えるよう指導 (3) ゲーム形式にするなど楽しみながらできるよう工夫	19～41名参加。平均26名。放送の有無で参加者に変動あり。現在の内容は今年度で終了し、次年度より健康レクとして新たにスタートする（別紙②参照）
内部研修	(1) 毎月感染症情報を発信し情報共有 (2) 救急救命士による救急法研修（今年度実施なし） (3) 年２回の感染の内部研修を行い、シーズン前の意識向上に努めた。感染委員会の立ち上げにより１回は栄養士、１回は看護師で実施。	継続事項。救急法は次年度からは個人受講とする。感染以外での内部研修が出来るよう準備していく。

健康サロン	(1) 健康大国を使用し、体操の実施 (2) 知識の習得をはかるため、スタンプカードを作成し出席率の増加に努めた(今年度で終了)	不定期開催とした。参加者が変わらず、意識の違いを感じた。また、看護師以外の職員が実施することもなく、職員間でも意識の違いを感じた。健康レクとして変化していくので今後に期待。外部講師への依頼も継続していく。
機能維持訓練	(1) 平日 9:30~15:30 の間、地域交流室を開放し各自で機能維持活動に取り組む (エアロバイク、ブルブル、脳トレ、歩行訓練、筋トレ等) (2) 職員と一緒に健康王国を使用した運動や訓練の実施 (3) 屋外散歩	利用者が固定されていた。看護師がいると参加者が増える。人頼みの印象。自発的行動に繋がるよう支援が必要。屋外散歩の実施で季節を感じ、明るい表情となる。「また行きたい」との発言もあり。

今年度の目標と評価

- ① 今年度実施したことの継続と随時内容改善
→できた。現状の評価と改善を繰り返し、よりよいものとする。
- ② 前年度未実施の疾患別指導の実施（例：糖尿病・喫煙）
→0%。実施もできていないが、そもそも利用者向けの座学は無理があると感じた。また、実施するのであれば職員の支援員の参加も必要で、個別支援計画書へ追加する
- ③ 服用回数の減少や通院箇所の整理で自己管理しやすくすることで、内服自己管理率7割目標
→58.4%が自己管理している（期間は個人による）一日分管理の方がいないのでそこを増やすと自己管理率の上昇につながると予測する
- ④ 職員向け内部研修の充実を図る（例：施設内でできる介護・介助方法、スキントラブル予防）

→未実施。計画していなかった

⑤ 施設内身体・認知機能維持活動の運営

→初年度の評価としてはまずまず。開放しているが固定された顔ぶれ、自主的に実施できるよう改善が必要。看護師管轄のようなところがあるので払拭したい。

次年度の目標

- ① 計画の実施と継続、評価・改善を随時行う（別紙③④）
- ② 職員のスキルアップ、知識の習得（研修への参加と周知、実施）

令和6年度 事業報告 栄養・調理

1 防災対策

- ① 非常用食糧は5日分、70名分相当量を備蓄し、賞味期限を考慮しながら、給食材料として使用し、その都度追加補充をおこなった。
- ② 無洗米を非常用備蓄として常時50kg備蓄した（賞味期限内に給食で使用し、その都度追加補充した）。また、夏から秋口にかけて米の価格の高騰が始まってからは無洗米から精白米とアルファ米の保存へ変更した。
非常用電源設備で縦型炊飯器による炊飯も可能となったが、今年は無洗米の入手が米の高騰により入手が厳しく、非常時はアルファ米炊飯を行うこととした。鍋の洗浄に必要な水はスプリンクラーの水を使用し、炊飯の水は非常用水（ペットボトル）を使用することとした。
- ③非常用水の備蓄
※台風などの情報が入った場合は、事前に保管容器に水を備蓄した。
※非常用ペットボトル水等常備。
※非常用水も賞味期限直近の物は飲料、給食用水として使用し、その都度補充を行った。
- ④ジュース、缶コーヒーなども非常用、通常用として常に在庫確保した。
- ⑤非常用のカセットコンロ、カセットボンベ、ディスポ食器、サランラップ、キッチンペーパー、ディスポグローブ、マスク等備蓄した。また、炊き出し訓練の反省点からアルコール消毒用のスプレーも備蓄することとした。

2 会議関係

① 給食会議

第1回 令和6年8月21日（参加職員18名）

- ・嗜好調査結果報告（令和6年6月実施分）
- ・間食・運動量調査報告（令和6年6月実施分）
- ・令和6年度 食事摂取基準について
食入所者個別表、年間体重表
糖尿病の利用者の血糖値の動き（年間個別）

第2回 令和7年2月26日（参加職員17名）

- ・嗜好調査結果報告（令和6年12月実施分）
- ・間食・運動調査報告（令和6年12月実施分）
- ・令和6年度 食事摂取基準について
入所者個別表、BMI一覧表、血糖コントロール表

② 献立検討会（介護支援員、看護師、調理員、栄養士の代表出席）

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	12日	14日	12日	12日	14日	14日	13日	12日	11日	7日	10日	11日
参加者	4名	4名	5名	4名	5名	5名	5名	4名	4名	2名	3名	4名

※献立検討会内容については毎月の献立検討会議録にて報告。

③給食懇談会（利用者と調理員、栄養士との給食に対する意見交換会）

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	5日	8日	4日	4日	6日	5日	4日	5日	3日	15日	10日	11日
利用者	42名	43名	36名	32名	37名	39名	41名	33名	40名	37名	37名	33名
職員	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名

※給食懇談会内容については献立検討会議録の中に給食懇談会報告として記載。

3 食生活

① 給食の提供

普通御飯 47名
 マンナン米 4名
 粥食 2名
 きざみ食 5名
 極小刻み食 6名
 ミキサー食 2名
 とろみ対応 2名
 おじや食 0名
 病態栄養食（糖尿病、高血圧症、腎臓病など）

② 特別献立

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
誕生日リクエスト選択	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
朝選択メニュー（火）	5回	4回	4回	5回	4回	4回	5回	4回	4回	3回	4回	4回
木曜選択メニュー（昼）	3回	5回	4回	4回	4回	4回	5回	3回	3回	4回	4回	3回
昼選択メニュー（日）	4回	4回	5回	4回	4回	5回	4回	4回	4回	3回	4回	5回
季節の行事食				2回	1回		1回	1回	2回	3回	1回	2回
1日メニュー（赤飯）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回		1回	1回
炊き出し調理訓練	1回											
外食	1回	1回	1回	1回	1回		1回	1回				1回
デザート選択メニュー	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
盛合わせ料理												

※入所者の希望によりデザート選択も実施した。

※盛合わせ料理（バイキング）は感染防止のため今年度も中止した。

※日帰り旅行とは別で外食を実施。（班分けし、少人数での実施）

② 利用者嗜好の献立への反映

- ・嗜好調査の実施（令和6年5月、対象51名、令和6年12月、対象51名）※入院者除外
- ・給食懇談会の実施（会議関係欄参照）
- ・給食に関する利用者の意見要望記入欄の掲示

4 衛生管理

①給食担当者

衛生マニュアルに添って点検し、毎日記録した。

②給食担当者の検便

(O-157・サルモネラ菌・赤痢菌対応)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	11日	9日	6日 24日	14日 27日	14日 28日	11日 26日	9日 23日	13日	11日	8日	12日	12日
人数	6名	6名	12名	12名	12名	12名	12名	6名	6名	6名	6名	6名
結果	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

(ノロウイルス対応)

実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施日	23日	13日	11日	8日	12日	12日
人数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
結果	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

※ノロウイルスに対応した検査は監査指摘事項により、発生の多い時期（10月～翌3月）に定期検査として実施している。

③DPD 比色法による簡易水質検査を毎日、調理作業開始前に行い記録した。また、同時にその日の厨房内の気温、湿度も測定し、記録するとともに食中毒注意の範囲内の場合は調理職員全員に伝達し、注意を促した。(温度30℃以上、湿度70%以上)

※県よりの食中毒注意報が出た場合も、その都度調理員に伝達注意を促した。

④保存食は、原材料（購入した状態のもの）及び調理済み食品ごとに50g程度ずつ清潔な容器に密封して-20℃以下2週間以上保存した。

⑤食中毒・伝染病・施設内感染防止のため食器類の消毒（常に80℃の流通蒸気中で30分～60分加熱）を行った。(食器乾燥保管庫)

⑥調理器具・容器など

- ・包丁、まな板の調理器具は用途別及び食品別に用意し、混同しないよう使用し、使用後は包丁まな板殺菌庫に保管した。(作業途中は酸性水とアルコール噴霧、熱湯消毒を必要に応じて行った)
- ・調理機械・調理器具、容器等は使用後（必要に応じて使用中）に洗浄・アルコール消毒・酸性水による消毒・熱湯消毒を行った。保管は食器乾燥保管庫で行った。

⑦原材料の取り扱い

原材料の納入に際しては給食担当者が立会い、検収場で原材料の品質、品温、異物の混入等について点検・記録した。冷蔵庫で保管する食材は専用容器に移し替え保管した。

卵は消毒した後、専用容器に移し替え保管した。

⑧下処理・調理中の取扱い

- ・野菜・果物を加熱せずに供する場合は、酸性水による消毒を行った。
- ・加熱調理食品は中心部まで十分（85℃で90秒以上）加熱し、毎回、調理法別に中心温度を測定し記録した。

⑨調理後の食品は2時間以内に喫食させた。外出等により2時間経過した場合は廃棄処分として、代替品を提供した（非常食等）

⑩衛生マニュアルに添って衛生点検を毎日実施し記録した。

- ・調理就業前と食器洗浄後の酸性水によるうがいの励行。
- ・適宜適所での手洗いの徹底。
- ・マスク着用の徹底。
- ・食品に直接ふれる作業はディスポグローブの使用徹底。
- ・調理員の体温管理の徹底（1日2回）
- ・調理場内の酸性水、アルコールによる殺菌。

5 食生活に関する情報の提供

- ・週献立表の掲示
- ・月間献立表の掲示
- ・特別献立表の掲示
- ・選択メニュー表の掲示
- ・栄養情報の掲示
- ・給食懇談会（生活習慣病などの食生活上の注意点等）

6 栄養指導の実施

肥満、糖尿病、高血圧の利用者に対して、看護師、担当介護支援員と連携を図りながら定期的に食生活上の注意点等について指導を行った。（給食懇談会も含む）

7 食事摂取基準に基づく栄養管理を行い、年度途中でアセスメントし、適正栄養供給に努めた。
（給食会議にて）

8.令和6年度給食関係重点事項

- ①停電時、炊飯釜が使用できない場合に備えて、スチームコンベクションにて炊飯を定期的に行い、自然な災害など不慮の停電に備えた。
- ②給食材料の価格高騰が見られる一年間であったため野菜の価格を記録し価格の変動を調べた。来年の給食材料購入の参考とする。
- ③厨房機器の長期間使用に伴う経年劣化の恐れから令和6年度は食器消毒保管庫と縦型炊飯器の購入を検討・業者間連絡を行い購入した。
- ④災害時の極小刻み食の方用にレトルトパウチ白粥を常に10食程度ストックする事とした。期限が近付いたら通常食に混ぜて喫食し、新しく購入していく。災害食・飲料水の内容を確認しなおし、期限の確認を行った。